

## 第3回 「マウス操作用語と実際」

用語の解説と実際の操作について

一般に、実際にパソコンを操作するにあたって、それぞれの操作の「次の操作」を前提に作業します。そのため、意識するとしないと関わらず、一定の操作の順序に馴れることが肝要で、少なくとも「何をどうする」の2段階のステップを常に、準備する必要があります。

用語「ドラッグ」

「領域・範囲などの設定を行う」操作です。

マウスの左ボタンを押さえたまま、「対象の文字列の上でマウスポインタを移動させる」操作や、フォルダを開いた状態で、ファイルをアイコンで表示し、複数のアイコンを囲むようにマウスポインタを動かす操作」などがあります。

操作の目的は、次の操作が「消去又は削除」「コピー」「移動」などの場合、その対象を選択する作業です。

ただし、ファイル一つだけの選択では、クリックによる「選択」を行います。

用語「クリック」

「右クリック」とは区分され全く別の操作です。

マウスの左ボタンで、素早く1回押して離す動作です。押し続けると、少しマウスポインタが動いた場合、前記のドラッグとパソコンが勘違いします。

主として、ファイルの選択の操作に使います。

また、同じフォルダの中から、複数のファイルを選択する場合は、「Ctrl」キーを押しながらクリックを続けます。

用語「ダブルクリック」

クリックを素早く2回続ける操作です。

一般に、クリックとクリックとの間隔は、馴れるに従い一定の間隔に落ち着きます。

多少の時間差は調整が可能です。

「コントロールパネル」から、「マウス」を開きます。

「ボタン」タブでその他の項目を含め、必要な調整を行います。

フォルダを開き、目的のファイルをダブルクリックすると、「ファイルを開く」操作になります。

通常では、そのファイルに関連付けされたプログラムが先に起動し、ファイルが開かれます。

「ダブルクリック」でなくても、ファイルは開くことができます。

一つには、後記の「右クリック」で表示される、「サブメニュー」から「開く」をクリックします。

二つ目は、シングルクリックでも開ける設定を行います。

「コントロールパネル」から「フォルダオプション」を開きます。

「全般」タブの、「クリック方法」で「ポイントで選択しシングルクリックで開く」を選択します。

OKボタンで終了します。

マウスポインタを「アイコン」に重ねると、反転し選択された状態になります。

「クリック」すると、関連付けされたプログラムから開く状態になります。

用語「ドラッグ&ドロップ」

ファイルのフォルダ間の移動やコピーの操作で使います。

左ボタンで対象のファイルアイコンを押さえ、受け入れ側フォルダの領域までドラッグしボタンを離します。

移動元又はコピー元の、二つのフォルダを開きます。

開いたフォルダの外周のいずれかにマウスポインタを当てます。

外周で表示される双方向矢印の位置で、ドラッグしてウインドウの大きさを調整します。

移動元又はコピー元の双方の開いたフォルダを左右に並べます。

異なるドライブ・異なる階層では、左ボタンによるドラッグ&ドロップは「コピー」になります。

また、同じ階層のフォルダ間では、「移動」になります。

右ボタンを使ったドラッグ&ドロップでは、表示されるメニューから、「移動」と「コピー」とを選択できます。

用語「右クリック」

「クリック」を右ボタンで行います。

右クリックで表示される「メニュー」は、使用する局面と、プログラムによって異なります。

基本的には、「ツールバー」のメニューから、選択した位置での使用可能なメニューが表示されるものです。

しかし、次に行うべき操作のヒントも含まれ、困った時には有益な手段の選択ができます。